



今年度も開催しました“未知への挑戦”

＜総合研究大学院大学×飯田市×飯田高校＞

◇総合研究大学院大学とは…

1988年神奈川県葉山町に開学した、大学卒業者もしくは大学院修士課程修了者のみが入学できる日本初の国立大学院大学で、国内各地にある世界レベルの研究施設と密接な連携・協力のもとに研究を行っています。



今年度も11月14日(月)に、飯田市のご協力のもと、総合研究大学院大学の院生の皆さんに来校していただき、本校の1,2年生を対象に『若手が語る最先端研究』と銘打って6つのテーマに分かれて、非常に興味深い内容の授業が行われました。若手大学院生が、研究の面白さや社会における研究活動の意義を熱くそしてわかりやすく語ってくれ、参加した生徒たちは身を乗り出して講義を聞くなど、大いに刺激を受けたようです。また、翌日は理数

科の生徒が現在取り組んでいる課題研究に関して、大学院生からアドバイスをもらい、来年1月31日予定されている課題研究発表会に向けて、内容のブラッシュアップに大いに参考となったようです。

＜開講された講座＞

- 哺乳類の胚発性～母親の子宮内では何が起きている？～
- 脳活動の計測と活用方法
- 見えない放射線を可視化する
- 私の視点：学んだことの応用、多角的に捉える、人間原理
- 中国のもう一つの顔～内陸農村の人々の暮らし～
- 技術の先にある不安と期待～AIと人間の共存共栄の先を知る～



「長野県サイエンステクノロジーコンテスト」準優勝！！

11月13日(日)、塩尻市の総合教育センターにおいて、長野高校や松本深志高校など県内の9校から19チームが参加して今年度の『サイエンステクノロジーコンテスト』が行われました。本校では2チーム出場し、Bチームが実技「ゆっくり、正確に着地するパラシュートを制作する」では1位となりましたが、筆記でわずかに及ばず総合では“第2位”という結果となりました。全国大会である“科学の甲子園”への出場が惜しくも果たせず、生徒たちは悔しさを滲ませていましたが、本校のこれまでの最高順位を獲得できたことは、生徒たちの探究心やチームワークの賜物であると思います。今後も様々なチャレンジ、本校の仲間や他校の生徒との切磋琢磨を通して、さらなる成長をしていってほしいと思います。

